

京都府農林水産部 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
資料配布

配布 日時	平成29年5月8日 14時00分
----------	---------------------

件名	鮎の遡上調査を実施します ～大川（大阪）の天然鮎を京都に放流～
----	------------------------------------

概要	<p>○ 京都府では府内河川の天然鮎を増やすため、平成28年度から「天然鮎の踊る京の川づくり推進事業」を新規に開始し、府内の関係漁業協同組合が鮎を桂川・宇治川・木津川の合流点付近に放流し、京都の川への遡上調査に取り組みます。</p> <p>○ 5月末までに7回の採捕と放流の実施を予定しておりますので、当日のご取材についてよろしくお願ひします。 【実施日】平成29年5月 9日（火）、11日（木）、15日（月）、19日（金）、 23日（火）、25日（木）、30日（火）</p> <p>○ なお、国土交通省淀川河川事務所では、鮎の遡上に配慮した淀川大堰の魚道及び毛馬水門において、鮎の遡上調査を行う予定です。</p>
----	---

取扱	_____
----	-------

同時配布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	--------------------

問い合わせ先	<p>【当日の開催・取材に関する問い合わせ先】 京都府農林水産部水産課 課長 井谷 匡志 副課長 谷 則和 電話 075-414-4992（直通）</p> <p>【淀川大堰、毛馬水門の操作に関する問い合わせ先】 近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川環境課 課長 稲垣 茂人 電話 072-843-2861（代表）</p>
--------	--

京都の川に天然鮎を増やすために 大阪・淀川の毛馬水門で鮎の採捕を実施

- 京都府では府内河川の天然鮎を増やすため、平成 28 年度から府内の関係漁業協同組合とともに、鮎を桂川・宇治川・木津川の合流点付近に放流し、京都の川への遡上調査に取り組んでいます。
- 今年度も、遡上も本格化する時期を迎え、今後 5 月末までに 7 回の採捕と放流の実施を予定しておりますので、当日の取材を希望される場合は問い合わせ先までご連絡をよろしくお願いいたします。
- なお、国土交通省淀川河川事務所では、鮎の遡上に配慮した淀川大堰の魚道及び毛馬水門において、鮎の遡上調査を行う予定です。

【調査の概要】

1 内容

淀川・毛馬水門で鮎を採捕し、桂川・宇治川・木津川の合流点付近に放流。

放流する鮎に目印を付け、釣り人に採捕場所等を報告してもらい、府内河川をどれくらい遡上したかを調査。

2 今後の実施予定日

平成 29 年 5 月 9 日（火）、11 日（木）、15 日（月）、19 日（金）、
23 日（火）、25 日（木）、30 日（火）

※各日午前 10 時開始

※採捕した鮎は、同日午後に京都府内の河川で放流予定

3 採捕場所

淀川・毛馬水門下流付近（大阪市北区）

4 実施主体

淀川天然鮎遡上促進実行委員会

（保津川・京淀川・賀茂川・宇治川・木津川の各漁業協同組合により構成。）

※ 京都府・京都府内水面漁業協同組合連合会が実行委員会の活動を支援

5 当日の取材に係る集合場所

国土交通省淀川河川事務所 毛馬出張所（大阪市北区長柄東 3-3-25）

※ 駐車場あり。ただし、駐車台数に限りがあります

※ 徒歩の場合：大阪市営地下鉄・阪急電鉄「天神橋筋六丁目」から 15 分程度

※ 集合場所から取材場所までは京都府水産課職員がご案内します

※天候等により日程を変更することがありますので、当日取材いただける場合は、前日（前日が日曜日に当たる場合は前週金曜日）の 17 時までに京都府水産課まで連絡先をお伝えください。

(参考：毛馬水門の地図)



問い合わせ先

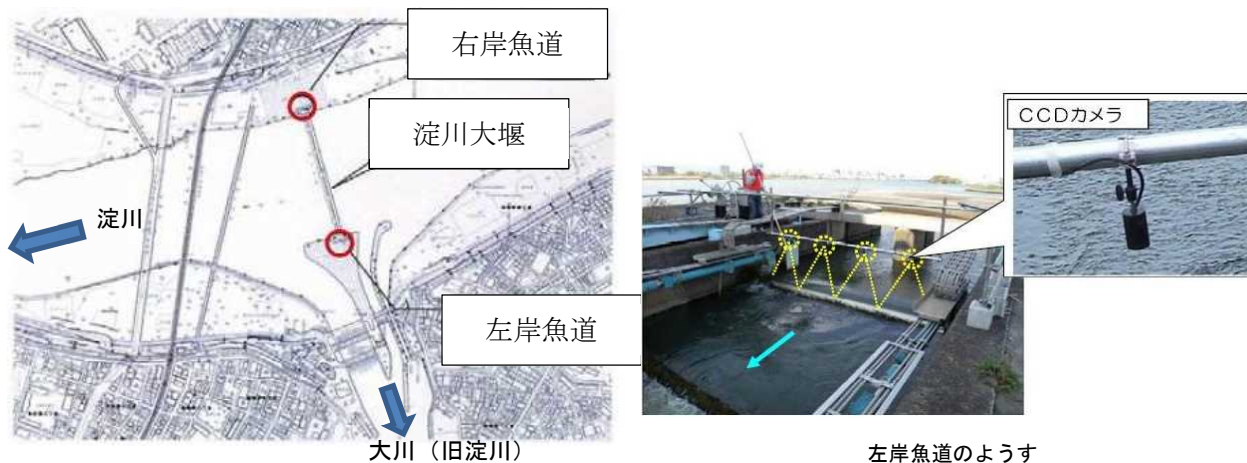
京都府農林水産部水産課 課長 井谷、副課長 谷

TEL : 075-414-4992 FAX : 075-414-4939

<参考>国土交通省淀川河川事務所では、河川環境に配慮し淀川大堰の魚道整備や施設操作を行っています。

(1) 淀川大堰のアユ遡上状況

- 淀川大堰の左右岸に魚道を設置しており、例年多くのアユが遡上（昨年は約40万尾）しています。遡上数については、CCDカメラで連続録画し、魚類の識別をしたものを淀川河川事務所のホームページに公開しています。

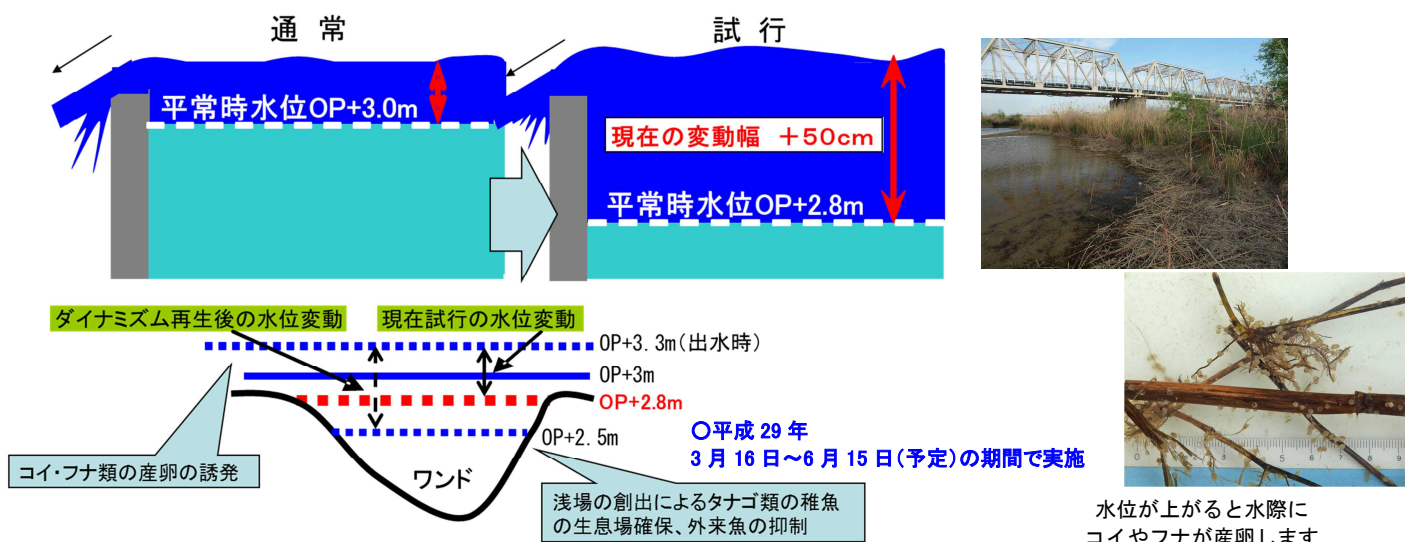


年度	観測期間	日数	左岸	右岸	合計	備考
平成24年度	4/13～6/15	64日	1,264,050	366,199	1,630,249	
平成25年度	4/12～6/15	65日	5,318	25,388	30,706	
平成26年度	4/17～6/15	60日	43,584	112,010	155,594	
平成27年度	4/26～6/15	51日	76,789	313,890	390,679	
平成28年度	3/10～6/15	98日	7,222	66,876	74,098	
平成29年度	3/10～6/15	98日	96,620	633,949	730,569	(注) 速報値、4/25まで

近年のアユの遡上数

(2) 河川環境に配慮した淀川大堰の操作

- 淀川の生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、淀川大堰の運用により中小洪水時の自然な水位上昇を起こす取組をしています。
- 現在の平常時の貯水位であるOP+3.0mをOP+2.5m（現在は取水施設の影響を考慮して2.8m）からOP+3.3mまで変動させています。
- 水位が上昇するとコイ・フナ類の産卵を誘発、水位が下がるときにはタナゴ類の稚魚の生息場の確保、外来魚の抑制、アユの遡上につながる効果を期待しています。



水位が上がると水際にコイやフナが産卵します